

高知くらしの護身術

424

子どもとスマホ

家族でルール作りを

(2017年3月21日掲載原稿)

進学や進級をきっかけに、子どもにスマートフォンを持たせることを検討しているご家庭も多いのではないのでしょうか。

インターネット利用を伴うスマートフォンには、さまざまなトラブルが生じる危険があります。保護者も子どもも、そのリスクを理解し、安全に使うための対策を取る必要があります。今回は保護者ができる対策のポイントを紹介します。

1. 子どもにスマートフォンを持たせる時は、「何のために必要か」「どのように使うか」を話し合みましょう。

「緊急連絡」「防犯」といった利用目的を明らかにした上で、利用できる機能（インターネット）の特徴や有害情報などの危険性、個人情報を守る必要性などを説明し、子ども自身に「スマートフォンを持つ必要性と責任」を自覚させることが大切です。

2. 有害情報へのアクセスを制限するフィルタリングを活用しましょう。

年齢や使い方によりレベル設定ができ、利用したいサイトの個別設定もできます。なお、Wi-Fi（無線 LAN）経由のアクセスの場合、フィルタリングが適用されない場合があります。購入の際に販売店などで確認してください。

3. 家族で利用のルールを作りましょう。

ルールは保護者からの一方的な押し付けではなく話し合っ決めて決めることが大切です。「午前0時以降は使わない」「一日〇時間まで」といった時間のルールや「公共の場ではマナーを守って使用する」という使う場所のルール、「食事中は使用しない」といった状況のルールを決め、守れなかったときは「保護者が〇日間預かる」といったペナルティも一緒に決めましょう。

インターネットは世界中とつながっています。子どもが安全に、安心して利用できるための知識を、親子で身につけるようにしましょう。